

DRV-EM4800

デジタルルームミラー型

ドライブレコーダー

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフにして microSD カードを取り出してく
ださい。(→ P.26)

microSD カードを本機に挿入する前に 13 ページの
「microSD カードについて」をお読みください。


My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	フロントとリアカメラ映像を切り替える	28
ドライブレコーダー機能ガイド	4	リバース連動「画角自動下降」機能を使う	29
録画機能について	4	リバース連動「画角自動下降」機能を設定する	29
運転支援機能について	5	リアカメラの表示位置を調整する	29
音声コマンド機能について	5	運転支援機能を使う	30
SD メンテナンスフリー機能について	5	運転支援機能についてのご注意	31
リアスモークガラス調整機能について	5	カメラ位置を調整する	31
安全上のご注意 (必ずお読みください)	6	運転支援機能をオン / オフする	32
内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)	7	録画する・写真を撮影する	33
取り付けや配線について	8	常時録画	33
使用方法について	10	イベント記録	34
異常時の問い合わせ	11	駐車録画	36
使用上のご注意	12	写真を撮影する (静止画記録)	38
取り付けについて	12	音声コマンドを使用する	39
ご使用について	12	録画時間の目安	40
電源について	12	フォルダ / ファイル構成	41
内蔵バッテリーについて	12	再生する	42
衛星受信について	12	再生画面のアイコン	42
本機のお手入れ	12	ファイルを再生する	42
microSD カードについて	13	設定を変更する	43
本機で使用する microSD カード	13	各機能を設定する	43
当社推奨 microSD カード	13	メニューの一覧	44
microSD カード使用上のご注意	13	パソコンツールを使う	47
ファイルについてのご注意	13	インストールする	47
各部の名称とはたらき	14	録画ファイルの再生	47
メインユニット	14	故障かな?と思ったら	48
フロントカメラ (前方撮影用) / リアカメラ (後方撮影用)	15	共通	48
LCD 画面の操作	16	駐車録画	49
LCD 画面に表示されるアイコンについて	16	イベント記録	50
取り付け / 配線のしかた	18	運転支援	50
推奨取り付け位置	18	KENWOOD MIRA-RECO VIEWER	51
取り付け手順	20	その他	51
取り付け時のご注意	21	表示メッセージ	51
メインユニットの取り付け	21	付録	53
フロントカメラの取り付け	22	モニター画面について	53
リアカメラの取り付け	22	商標について	53
各ユニットを接続する	23	ソフトウェア使用許諾契約書	53
電源の接続とカメラ調整	24	主な仕様	63
ご使用の前に	26	交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度	65
電源をオン / オフする	26	保証とアフターサービス	66
microSD カードを入れる / 取り出す	26	保証書	68
microSD カードをフォーマットする	27		

本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「駐車モード設定」	本機に表示される設定メニューの項目名を表しています。
[🗨️]	本機に表示されるアイコンを表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

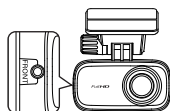
- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。

付属品

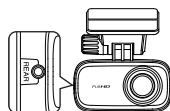
メインユニット
(32GB microSD
カード挿入済) × 1



フロントカメラ
(ブラケット付き) × 1



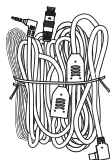
リアカメラ
(ブラケット付き) × 1



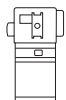
シガープラグコード
(3.5m) × 1



接続ケーブル × 1



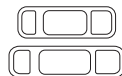
中継コネクタ × 1



GPS ユニット(2.0m)
× 1



固定用バンド(短) × 2
固定用バンド(長) × 2



クリーニングクロス
× 1



取扱説明書
(保証書付) × 1



- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ご購入時、本機に microSD カード (32GB) が挿入されています。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにフロントカメラとリアカメラの映像および写真を、LCD 画面の表示に関係なく同時に記録保存します。必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

ご購入時、本機に microSD カード (32GB) が挿入されています。

microSD カードの入れかたについては 26 ページをご覧ください。

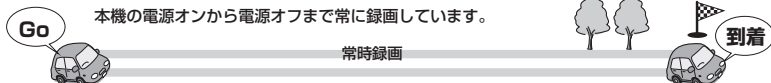
録画機能について

- ・車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます (常時録画)。
- ・常時録画中に、本機に大きな衝撃^{*1} が加わる、または後方急接近を検出^{*2} した場合は、その前後の映像を記録します (イベント記録)。
- ・ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) を使用しているときは、駐車中に本機が大きな衝撃^{*1} を検知すると、検知後の映像を録画します (駐車録画)。また、常時録画の 1/28 に時間を圧縮して録画することもできます。(タイムラプスモード)

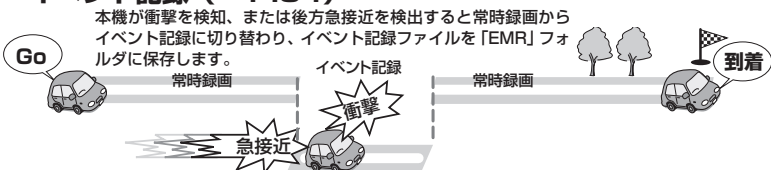
^{*1} 衝撃の検知はメインユニットのみで機能します。

^{*2} 運転支援機能設定の「後方急接近警告」を設定する必要があります。(→ P.30)

常時録画 (→ P.33)



イベント記録 (→ P.34)



駐車録画 (→ P.36)

駐車中 (エンジンスイッチをオフ) に本機が監視を行い、衝撃を検知すると駐車録画を開始します。

タイムラプスモード中も衝撃を検知すると駐車録画を開始します。

- ・ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) が必要です。また、駐車録画を使う場合は「駐車モード設定」で設定を行ってください。(→ P.45)



■ イベント記録の手動録画

常時録画中に本機の [⏏] アイコンをタッチするとイベント記録の手動録画を開始します。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。(→ P.35)



■ 写真撮影 (静止画記録)

録画中に本機の [📷] アイコンをタッチすると、写真を撮影します。(→ P.38)



運転支援機能について

本機には5つの運転支援機能があり、状況を検知すると警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。各機能については事前に本機の調整と設定が必要です。(→ P.30)

	発進遅れ警告 信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったとき		後方急接近警告 走行中に後方車両との距離を検出し、安全な距離が保たれていない場合
	車線逸脱警告 走行中に車線を逸脱したとき		斜め後方障害物警告 走行中に後方から接近する車両などが自車の斜め後方に入ったとき
	前方衝突警告 走行中に前方車両との距離を検出し、安全な距離が保たれていない場合		

音声コマンド機能について

イベント記録 (手動録画)、写真撮影、カメラ映像の切り替えの3つの機能は、コマンドを発話することで操作ができます。(→ P.39)

SD メンテナンスフリー機能について

本機は microSD カードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的なフォーマット (初期化) は不要です。ただし、付属の microSD カードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。

本機でフォーマットしていない microSD カード、また、パソコンなどで microSD カード内のファイルの変更や追加・削除された microSD カードを本機に挿入すると、フォーマットが要求されます。必要なファイルが保存されている場合はパソコンなどに保存してからフォーマットを実行してください。




リアスモークガラス調整機能について

本機はリアスモークガラスの濃さに合わせて、録画映像の明るさを調整できます。(→ P.45)




安全上のご注意（必ずお読みください）

■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクタに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

取り付けについて

- ・本機はカメラモニタリングシステム搭載車※や純正デジタルルームミラー装着車※には使用できません。
※側方や後方などの車外カメラを使用し、車内のルームミラー内のディスプレイなどで直前側方運転視界基準等を満たしている車両
- ・誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」(→ P.18)を参照して本機を正しく取り付けてください。

ご使用について

- ・もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD MIRA-RECO VIEWER」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.42、P.47)
- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・車両のフロントガラス / リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機にある RESET ボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.14)
- ・LED 信号機の色が認識できなったり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

電源について

- ・本機の動作電源電圧は DC5V です。必ず付属のシガープラグコードまたはドラ

イブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品)を使用し、取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ)などは絶対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- ・本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- ・購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を1~2時間オンにして充電してください。

衛星受信について

- ・衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹木、高架橋または高層ビル) などの影響を受ける可能性があります。
- ・GPS ユニットに塗装やシールの貼り付けなどをしないでください。衛星信号の受信性能が落ち、十分な機能を発揮しなくなります。
- ・GPS ユニットは、各車載機器及び各アンテナからなるべく離して設置してください。近くに取り付けると GPS ユニットが正常に機能せず、電波受信に影響したり、本機もしくは各車載機器が誤動作を起こす原因になる場合があります。

本機のお手入れ

- ・本機が汚れたときは、付属クリーニングクロス、シリコンクロス、または柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ・ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがないことを確認してからご使用ください。

microSD カードについて

本機で使用する microSD カード

- ・本機で使用できるのは下記の microSD カードです。

容量	32GB～128GB
ビデオスピードクラス	V30 以上

- ・ご購入時、本機には microSD カード (32GB) が挿入されています。
- ・すべての microSD カードでの動作を保証するものではありません。

当社推奨 microSD カード

- ・当社製 microSD カード (別売品)。詳細は以下をご覧ください。
<https://www.kenwood.com/jp/car/option/>

microSD カード使用上のご注意

- ・市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・32GB 未満の microSD カードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- ・microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- ・microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ・はじめて使用する microSD カード、また、パソコンや他の機器で使用した microSD カードを挿入するときは、microSD カードのフォーマット (初期化) が必要です。
- ・カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマット (初期化) を行うと、本機で正常に動作しません。microSD カードのフォーマットは必ず本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。
- ・本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なる場合があります。
- ・分解や改造を行わないでください。
- ・microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。

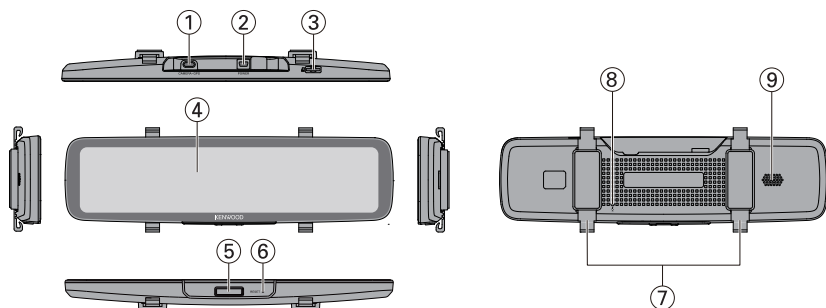
- ・microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- ・データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- ・microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- ・必要なファイルは必ずパソコンなどに保存 (コピー) してください。
- ・microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードを着脱するときは、microSD カードの向きを確認し、折り曲げたり強い圧力や衝撃を与えたりしないでください。

ファイルについてのご注意

- ・microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存 (コピー) してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。必要な録画ファイルが保存されている場合はパソコン等に保存してからフォーマットしてください。
- ・本機での microSD カードのフォーマットやファイルの削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。
- ・廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・microSD カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき

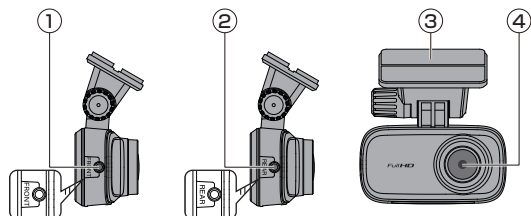
メインユニット



番号	名称	はたらき
①	各ユニット接続端子	付属の接続ケーブルを接続します。(→ P.23)
②	電源入力端子 (DC5V)	付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) を接続します。
③	microSD カード スロット	録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.26) microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。
④	LCD 画面	タッチすると操作メニューを表示します。(→ P.16)
⑤	電源ボタン	電源オンのときに押すと、画面表示がオフになり、もう一度押すと画面表示がオンになります。3 秒以上押し続けると本機の電源がオフになります。
⑥	RESET ボタン	本機をリセット (再起動) します。(→ P.12) RESET ボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑦	フック	純正ルームミラーに取り付ける際に、固定用バンドを取り付けます。
⑧	マイク	録画中の音声および、音声コマンド機能の発話を收音します。マイクをオフにしても音声コマンド機能は有効です。
⑨	スピーカー	操作音、警告音、ファイル再生時の音声を出力します。 音量の設定については、LCD 画面の左側をタッチし、上下方向にスワイプ (スライド) 操作することで調整できます。(→ P.16)

フロントカメラ（前方撮影用） / リアカメラ（後方撮影用）

フロントカメラとリアカメラがあります。側面の印刷を確認してください。



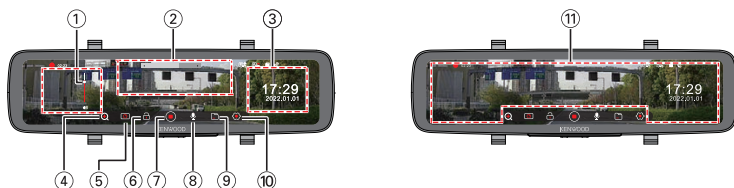
番号	名称	はたらき
①	メインユニット 接続端子	付属の接続ケーブル（フロントカメラ用ケーブル）を接続します。 （→ P.23）
②	メインユニット 接続端子	付属の接続ケーブル（リアカメラ用ケーブル）を接続します。 （→ P.23）
③	取付ブラケット	お買い上げ時、取付ブラケットはセットされています。（→ P.22）
④	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。

LCD 画面の操作

LCD 画面をタッチすると操作メニューが表示されます。
操作メニューは約 10 秒間操作をしないと消えます。

LCD 画面に表示されるアイコンについて

■ 操作メニューアイコン

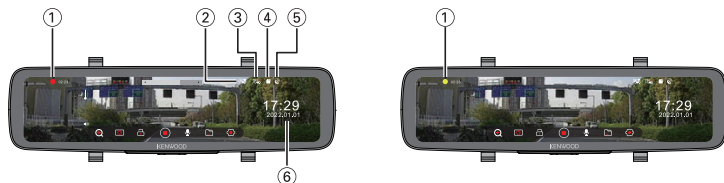




番号	名称	アイコン	はたらき
①	音量調整		LCD 画面の左側付近を上下にスワイプ(スライド)操作すると、操作音、警告音、ファイル再生時の音量を調整できます。
②	明るさ調整		LCD 画面の中央上付近を左右にスワイプ(スライド)操作すると、画面の明るさを調整できます。
③	画面表示エリア調整		LCD 画面の右側付近を上下にスワイプ(スライド)操作すると、カメラ映像の表示エリアを調整できます。 調整した表示エリアは、フロントカメラ、リアカメラとリバース連動(画角自動下降)を別々に記憶します。 フロントカメラとリアカメラの両方のカメラ表示中はエリア調整できません。
④	表示画角		タッチすることによってフロントカメラ映像、またはリアカメラ映像の表示画角を拡大します。(拡大率1.0x~1.5x) 拡大率1.5xの時にタッチすると、表示画角を拡大率1.0xに戻します。
⑤	写真撮影		録画中にタッチするとフロントカメラとリアカメラの映像を撮影します。録画停止中は写真撮影できません。
⑥	イベント記録の 手動録画		常時録画中または録画停止中にタッチするとイベント記録の手動録画を開始します。
⑦	録画		録画を開始 / 停止します。
⑧	マイク		マイクをオン / オフします。
⑨	再生モード		タッチすると、再生モードの画面に入ります。再生モードの画面に入る前に録画を一度停止する必要があります。
⑩	設定メニュー		設定メニュー画面に切り替わります。設定メニュー画面に切り替えるためには録画を一度停止する必要があります。
⑪	画面表示切り 替え		操作メニュー表示中に LCD 画面をタッチすると表示されている映像が切り替わります。(→ P.28)



- ①音量調整や、②明るさ調整を行う場合、画面をスワイプ（スライド）操作すると調整バーが表示されますので、表示中に再度スワイプして調整します。

■ 表示メニューアイコン



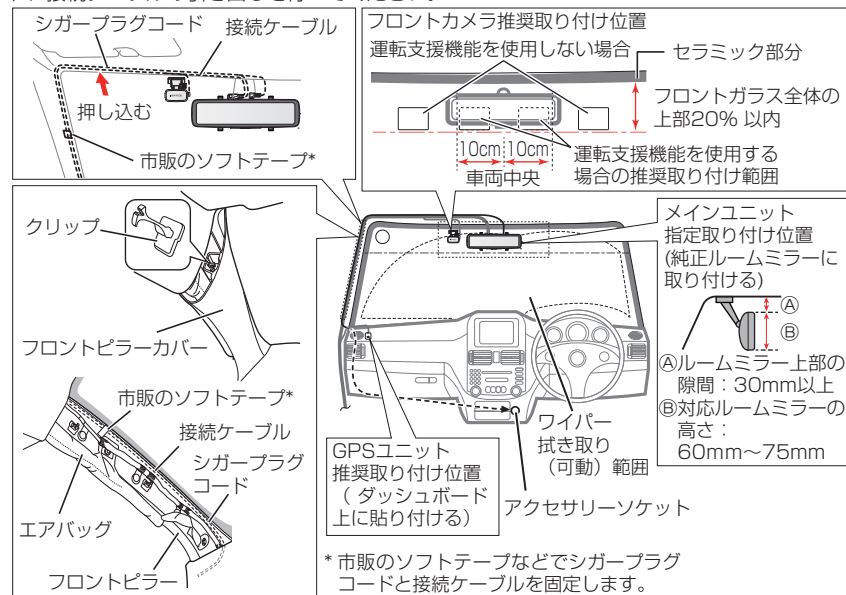
番号	名称	アイコン	はたらき
①	録画アイコン	 	常時録画中は、赤色のアイコンが点滅します。 イベント記録画中、手動録画中、駐車録画中は、黄色のアイコンが点滅します。
②	タイムラプスモード		タイムラプスモードが有効の場合に表示します。
③	駐車モード	 	  駐車モードのオフ、または衝撃検出感度設定（「低」、「中」、「高」）を表示します。
④	microSDカード	 	microSD カードの挿入 / 未挿入の状態を表示します。
⑤	GPS	   	GPS の受信状態（信号レベル 3～0）を表示します。
⑥	日付と時刻	17:29 2022.01.01	日付と時刻を表示します。

取り付け / 配線のしかた

推奨取り付け位置

■ メインユニット / フロントカメラ / GPS ユニット

メインユニット、フロントカメラ、GPS ユニットの取り付け位置を確認し、シガープラグコード、接続ケーブルの引き回しを行ってください。



フロントカメラはフロントガラス全体の上部 20%以内への取り付けを推奨します。
運転支援機能を使用する場合は、車両中心となる位置から左右 10cm 以内への取り付けを推奨します。推奨位置に取り付けできない場合は、発進遅れ警告機能、車線逸脱警告機能、前方衝突警告機能が正しく動作しないため、各警告機能をオフにしてください。(→ P.46)

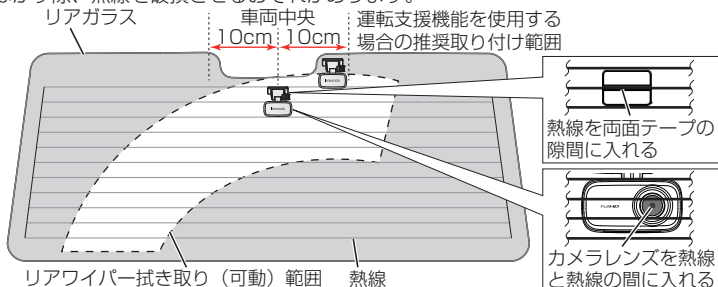


- 国土交通省の定める保安基準*に適合するように取り付けてください。
*保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条 (窓ガラス)
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジや ETC 等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

■ リアカメラ

リアガラスに熱線がある場合は、以下に注意して取り付けてください。

- ・リアカメラのレンズを熱線と熱線の間になるようにします。画像の中心から下部に熱線が映り込むと、運転支援機能やリバース連動「画角自動下降」機能の障害になることがあります。
- ・取付ブラケットの両面テープは、できるだけ熱線避けるように貼り付けてください。両面テープはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。



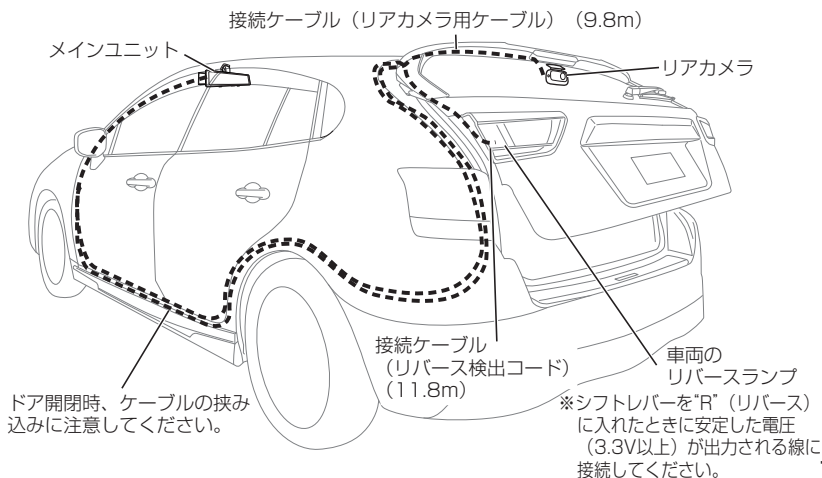
運転支援機能を使用する場合、リアカメラはリアガラス上部の車両中心となる位置から左右10cm以内への取り付けを推奨します。後方視界補助ミラー等により推奨位置に取り付けできない場合は、後方急接近警告機能、斜め後方障害物警告機能が正しく動作しないため、各警告機能をオフにしてください。(→ P.46)



- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、18ページの注意事項もご覧ください。



取り付け / 配線のしかた

取り付け手順



- ・駐車録画を行う場合は、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) を使用して接続します。付属のシガープラグコードは使用しません。
- ・CA-DR550 の接続方法は、CA-DR550 に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・CA-DR550 の取扱説明書では、駐車録画機能設定の記載が本機の設定と異なります。本機の設定として下記に読み替えてください。
 - 「本製品について」の「ドライブレコーダーの駐車録画機能について」は、本書 36 ページの「駐車録画」をご覧ください。
 - ドライブレコーダー側の「駐車モード設定」を「低」「中」「高」のいずれかに設定してください。

▼
ドライブレコーダー側の「駐車モード設定」を「衝撃検知モード」または「タイムラプスモード」に設定してください。

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する
2. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にする
3. 推奨取り付け位置を参考に各ユニットの取り付け位置を決める (→ P.18、P.19)
4. 付属の接続ケーブルをフロントカメラ、リアカメラに接続し、仮配線する (→ P.23)
5. 付属のシガープラグコードを接続し、仮配線する (→ P.24)
6. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源が入ることを確認する

7. フロントカメラ、リアカメラの映像を確認して、取り付け位置と角度を決める
8. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にして本機の電源をオフにする
9. 配線に必要な車両部品を取り外す
10. 各ユニットを取り付ける (→ P.22)
11. 付属の接続ケーブルを接続し、配線する
12. 付属のシガープラグコードを接続し、配線する
13. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして、本機の電源が入り、各ユニットが接続されていることを確認する
14. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にする
15. 外した車両部品を取り付ける
16. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源を入れる
17. フロントカメラ、リアカメラの映像を確認して、角度を調整する
18. 運転支援機能を使用する場合は、カメラ位置の調整を行う (→ P.31)

取り付け時のご注意

共通

- ・車両のフロントガラス/リアガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に働くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないようにソフトテープなどでまとめてください。
- ・ラジオアンテナの近くに取り付けおよび配線をしてください。ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしてください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

- ・本機の電源をオフしたときに本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故等の原因になります。映り込みが気になる場合は、純正ミラーの手動防眩機能を使用するなど角度を調整してください。
- ・メインユニットを純正ミラーに取り付ける前に、純正ミラーの可動部が少しの力を加えただけで動いてしまうことがないか確認してください。弱い力を加えただけで動いてしまう場合は、純正ミラーの可動部に異常などがないか確認してください。

フロントカメラ

- ・車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

リアカメラ

- ・直接リアガラスに取り付けてください。

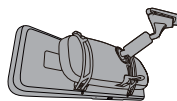
- ・リアガラスに熱線がある場合は、できるだけ熱線避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。



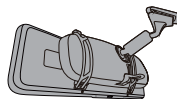
- ・両面テープはできるだけ熱線避けて貼り付けてください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- ・粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。
- ・ガラスに貼り付け直すと粘着テープの接着強度が落ちます。貼り付け直すことがないように貼り付け位置を事前に確認してください。

メインユニットの取り付け

1. 純正ルームミラーへの取り付け位置を決める



2. メインユニットを純正ルームミラーにあてがい、付属の固定用バンドをメインユニット上下のフックに引っ掛けて取り付ける

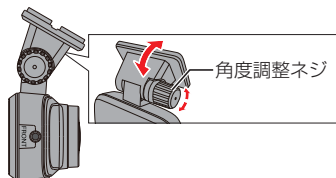


取り付け / 配線のしかた

フロントカメラの取り付け

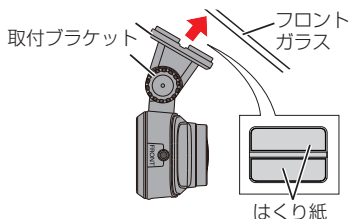
1. フロントカメラ側面に「FRONT」の印刷があることを確認する
2. フロントガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。



3. フロントカメラの推奨取り付け位置 (→ P.18) を参考にしてフロントカメラの取り付け位置を決める
4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る
5. 取付ブラケットから両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて貼り付ける

フロントカメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできませんが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



リアカメラの取り付け

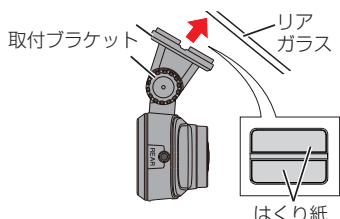
1. リアカメラ側面に「REAR」の印刷があることを確認する
2. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

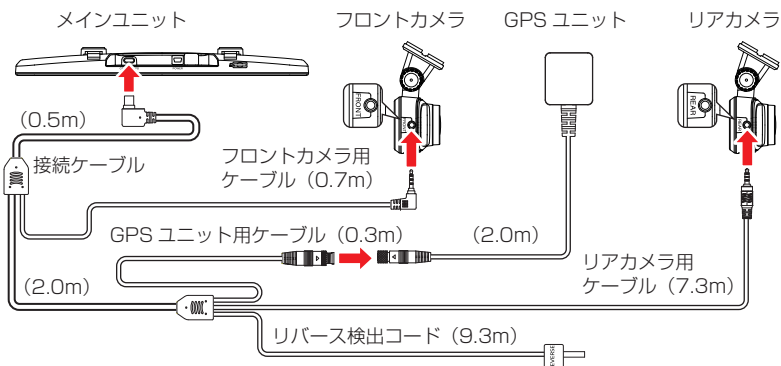


3. リアカメラの推奨取り付け位置 (→ P.19) を参考にしてリアカメラの取り付け位置を決める
4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る
5. 取付ブラケットから両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

リアカメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできませんが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



各ユニットを接続する



付属の中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続します。

1. 付属の接続ケーブルをメインユニットに接続、フロントカメラ用ケーブルをフロントカメラに接続し、配線する

2. リアカメラ用ケーブルをリアカメラに接続し、配線する

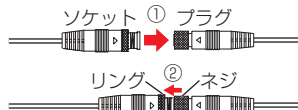
3. リバース検出コードを付属の中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続し、配線する

※シフトレバーを「R」（リバース）に入れたときに安定した電圧（3.3V以上）が出力される線に接続してください。

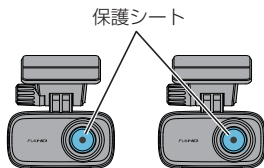
※ 接続していないと、リバース連動「画角自動下降」機能を使用できません。

4. GPSユニット用ケーブルをGPSユニットに接続、配線する

①ソケットの溝を合わせてプラグに差し込みます。②ソケットのリングを持ち、プラグのネジを締めて固定します。



5. カメラレンズの保護シートをはがす



取り付け / 配線のしかた

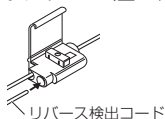
■ 中継コネクターの使いかた

1. 車両側のハーネスを中継コネクタに差し込む

2. ケーブル止めをロックする

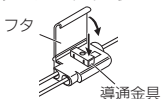


3. 接続ケーブルのリバース検出コードを中継コネクタに差し込む



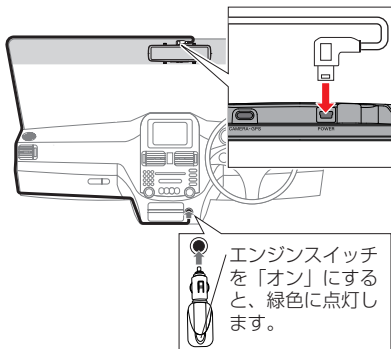
4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込む

5. 最後にフタをロックする



電源の接続とカメラ調整

1. 付属のシガープラグコードをアクセサリソケットとメインユニットに接続して、配線する



シガープラグには12Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。シガープラグの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. エンジンスイッチを「オン」にする
3. LCD画面をタッチして、[] アイコンをタッチする
常時録画が停止します。
4. 録画停止状態で、[] アイコンをタッチする
5. [メインメニュー設定] をタッチする
6. 「バックミラー」をタッチし設定を (オフ) にする (→ P.44)
7. 左右の空白部分をタッチする
常時録画に戻ります。

8. LCD 画面をタッチして、フロントとリアカメラの2カメラ映像に切り替える (→ P.28)

9. 画面を見ながら、フロントカメラの角度 (向き) を調整する

地上と空の比率が約 1 対 1 になることを推奨します。



* 写真はイメージです



* 写真はイメージです

10. 画面を見ながら、リアカメラの取り付け角度 (向き) を調整する

地上と空の比率が約 1 対 1 になることを推奨します。



* 写真はイメージです



* 写真はイメージです



11. フロントカメラの画像位置を合わせる


LCD 画面をタッチしてフロントカメラの画像を表示させ、LCD 画面の右側を上下にスワイプ (スライド) 操作し表示したい位置に合わせます。(→ P.16)



12. リアカメラの画像位置を合わせる

LCD 画面をタッチしてリアカメラの画像を表示させ、LCD 画面の右側を上下にスワイプ (スライド) 操作し表示したい位置に合わせます。(→ P.16)

13. LCD 画面をタッチして、[] アイコン → [] アイコン → [メインメニュー設定] をタッチする

14. 「バックミラー」をタッチし設定を  (オン) にする



• お買い上げ時は「バックミラー」の設定はオンになっています。このため、リアカメラ以外の映像にした場合、10 秒後にリアカメラの映像に切り替わります。(→ P.44)

ご使用の前に

ご使用の前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどが無いが、定期的に点検を行ってください。

運転の妨げや事故の原因となることがあります。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに電源ボタンを3秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに電源ボタンを一回押すと、電源がオンになります。



- エンジンスイッチがオフ中に本機の電源ボタンで電源をオンにすることはできません。
- 接続方法や駐車モード設定により、エンジンスイッチを「オフ」にしたときの終了ロゴ表示、終了音の動作が異なります。

- 接続方法：シガープラグコード

駐車モード設定	終了ロゴ表示	終了音
使用不可	なし	あり

- 接続方法：ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品)

駐車モード設定	終了ロゴ表示	終了音
オフ	あり	あり
衝撃検知モード	なし	なし
タイムラプスモード	なし	なし

※ microSD カードを挿入していない、音量調整を一番下(ミュート)にした、「システム音設定」をオフに設定したなど条件により異なる場合があります。

- 駐車録画機能を使用の場合：車両のエンジンスイッチを「オフ」にする前に、本機の電源ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。駐車録画機能を動作させるためには、必ず一旦エンジンスイッチを「オン」にして、本機が起動したことを確認してから再度エンジンスイッチを「オフ」にしてください。

microSD カードを入れる / 取り出す

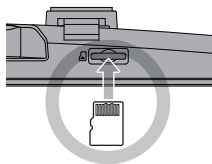
microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、電源オフ中に行ってください。

(駐車モード中は microSD カードを出し入れしないでください。)

- 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源を入れる
- 本機の電源ボタンを3秒以上押し続けて、電源を手動でオフにする
- LCD 画面が消えたことを確認する
- microSD カードを入れる / 取り出す

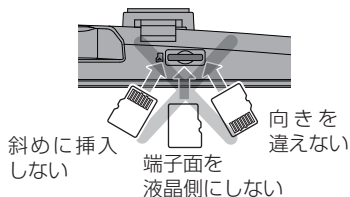
● microSD カードを入れる

microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



「microSD カードの端子面を上図の向きで挿入する」

● 間違った入れかた



- microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。



- 電源オン状態で microSD カードを取り出した場合、「SD カードが入っていません!」と表示されます。
- 再度、microSD カードを挿入した場合、「まもなく再起動します。」と表示され、本機は再起動します。

microSD カードをフォーマットする

本機でフォーマットしていない microSD カードを挿入すると「SD カードをフォーマットしてください!」というメッセージが表示されるので、本機でフォーマットを行ってください。

フォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。必要なファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

1. microSD カードスロットに挿入する
2. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源を入れる
3. 「SD カードをフォーマットしてください!」と表示されたら、「実行」をタッチする



「SD カードフォーマット中」と表示されている間は、microSD カードを取り出ししたり、本機の電源をオフにしないでください。



4. 「SD カードをフォーマットしました。」と表示され、「確認」をタッチする



- フォーマットの時間は microSD カードの容量で異なります。32GB microSD カードの場合は、約 50 秒かかります。
- 手動で microSD カードをフォーマットする場合、設定メニュー中の「システム設定」の「SD カードフォーマット」からフォーマットすることができます。(→ P.46)

フロントとリアカメラ映像を切り替える

LCD 画面に表示される映像を切り替えることができます。

1. LCD 画面をタッチする

操作メニューが表示されます。

2. LCD 画面をタッチするたびに映像が右記の順番で切り替わる



設定について

お買い上げ時は、「バックミラー」がオンに設定されています。

電源をオンにすると、リアカメラの映像が表示されます。

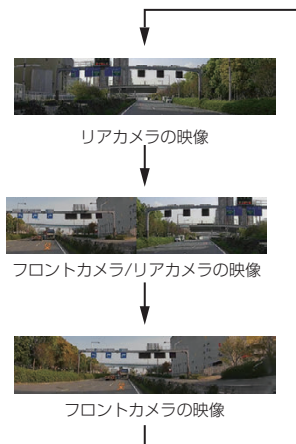
「バックミラー」をオフにすると、電源オフ前に設定していた映像が電源オン時にも表示されます。

リアカメラの映像について

- ・録画時：左右反転している鏡像（バックミラーと同じ）になります。
- ・再生時：正像で再生します。



- ・シフトレバーを「R」（リバース）にしたときのリバース連動「画角自動下降」機能中は、LCD 画面の表示切り替えはできません。
- ・設定メニュー画面の「メインメニュー設定」で「バックミラー」をオンにすると、LCD 画面の表示をリアカメラ以外の映像にした場合、10 秒後にリアカメラの映像に切り替わります。（→ P.44）



* 写真はイメージです。

リバース連動「画角自動下降」機能を使う

リバースに連動してリアカメラ映像の画角を下降して映すことで車両後方の確認を補助することができます。

リバース連動「画角自動下降」機能を使用するには

- ・「リバース連動」設定を「オン」に変更する必要があります。
- ・リバース検出コードを車両のリバースランプハーネスに接続する必要があります。
(→ P.23)

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- ・リバース連動「画角自動下降」機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。リアカメラ取付部のリアガラスに雨滴などが付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・表示位置を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

リバース連動「画角自動下降」機能を設定する

1. LCD画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させる



2. [●]アイコンをタッチして、録画を停止させる

3. 録画停止状態で、[●]アイコンをタッチする

設定メニュー画面が表示されます。



4. [メインメニュー設定]をタッチする

5. 「リバース連動」をタッチし設定を●○（オン）にする

6. 左右の空白部分をタッチする
常時録画に戻ります。

リアカメラの表示位置を調整する

1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する






2. シフトレバーを「R」（リバース）にする
リバース連動（画角自動下降）の映像が表示されます。

3. LCD画面の右側付近を上下にスワイプ（スライド）操作し、表示エリアを調整する



運転支援機能を使う

本機には5つの運転支援機能があります。運転支援機能を使用するには、各機能の設定を「オン」に変更する必要があります。(→ P.46)

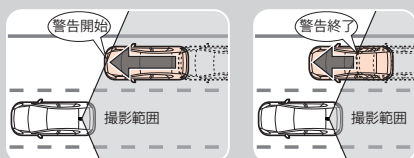
機能/画面表示	機能説明
発進遅れ警告 	信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったときに約1秒後に警告音を鳴らし、画面にアイコンを表示します。 交差点などで先頭に停車した場合、前方を横切る人や車両に反応する場合もあります。 逆光、夜間、トンネル内、悪天候など、条件によっては正しく動作しません。
車線逸脱警告 	走行中の車線を逸脱したときに警告音を鳴らし、画面にアイコンを表示します。 時速60km/h以上で動作します。逆光、夜間、トンネル内、悪天候、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。
前方衝突警告 	走行中に前方車両との距離を検出し、安全な距離が保たれていない場合、警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。 時速30km/h以上で動作します。 逆光、夜間、トンネル内、悪天候など、条件によっては正しく動作しません。
後方急接近警告 	走行中に後方5m以内に3秒以上車両が接近したことを検出すると、警告音を鳴らし画面にアイコンを表示し、イベント記録をおこないます。 動作速度は30km/h、50km/h、70km/hから選択できます。 動作速度の設定が低い場合、車種によっては頻繁に警告が発生することがあります。 このような場合は、動作速度を50km/hまたは70km/hに設定してください。 逆光、夜間、トンネル内、悪天候など、条件によっては正しく動作しません。
斜め後方障害物警告 	走行中、後方から接近する車両などが自車の斜め後方(ブラインドスポット)に入ったときに警告音を鳴らし、画面にアイコンを表示します。 時速10km/h以上で動作します。また、車両の後退時にも動作します。 逆光、夜間、トンネル内、悪天候など、条件によっては正しく動作しません。



- 警告音を鳴らすかは「メインメニュー設定」の「システム音設定」で設定します。(→ P.44)
- 斜め後方障害物警告の警告音を鳴らすかは「運転支援機能設定」の「斜め後方障害物警告」の警告音で設定します。(→ P.46)
- シフトレバーを「R」(リバース)にしたときのリバース連動「画面自動下降」機能中は、運転支援機能が動作しません。必ず目視での安全確認を行ってください。
- SDカードを挿入していない、または録画を停止している間は、キャリブレーションを含む運転支援機能が動作しません。

斜め後方障害物警告について

本機能は車両などがリアカメラ撮影画角内から出た際に通知するものであり、死角に存在する車両などの障害物を検知するものではありません。必ず目視での安全確認を行ってください。



運転支援機能についてのご注意

- ・車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度と向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれると、運転支援機能は正しく動作しません。調整後はカメラをしっかりと固定してください。
- ・運転中にドライバーが調整することは絶対にしないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整するようにしてください。
- ・運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。
- ・運転時は交通ルールを守り、車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときに警告音が鳴ります。
- ・以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や色、光の加減などによって、検知すべき車両が認識できない場合。
 - 天候（雨・雪・濃霧・ワイパーの使用など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。
 - トンネル内などGPSが受信できない場合。
 - フロントカメラを推奨位置に取り付けできない場合は、発進遅れ警告機能、車線逸脱警告機能、前方衝突警告機能が正しく動作しません。(→ P.18)

- リアカメラを推奨位置に取り付けできない場合は、後方急接近警告機能、斜め後方障害物警告機能が正しく動作しません。(→ P.19)

カメラ位置を調整する



- ・カメラ位置調整を実行し、キャリブレーションが終わり「完了」と表示されるまでは、運転支援機能が働きません。

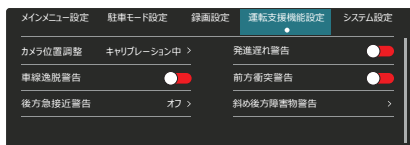
1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する
2. LCD画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させる



3. [●] アイコンをタッチして、録画を停止させる
4. 録画停止状態で、[●] アイコンをタッチする
設定メニュー画面が表示されます。



5. [運転支援機能設定] をタッチする



運転支援機能を使う

6. [カメラ位置調整] をタッチする

フロントカメラ / リアカメラ調整画面が表示されます。

7. カメラの位置を合わせる

フロントカメラとリアカメラを上下に傾けて、赤線を道の先端（地平線）に合わせます。

緑線は画像の中心を示します。カメラの取り付けを車両中心となる位置から左右10cm以内を推奨しています。

出来るだけ、緑線が走行車線の中心に近づく位置に貼り付けてください。



8. [実行] をタッチする

キャリブレーションが開始されます。

9. 一定時間、道路を走行する。

次の走行条件を満たすと、キャリブレーションを行います。

- GPS が受信でき 20km/h 以上で走行します。
- 両側に車線がはっきりと設置されている道路を走行します。

10. キャリブレーション完了

キャリブレーションが完了すると、「キャリブレーションが完了しました。」とポップアップが表示されます。



- キャリブレーションは通常 10 分程度で完了しますが、走行条件によってはキャリブレーションが完了するまでに時間がかかる場合があります。
- キャリブレーションの途中でエンジンスイッチをオフしたり、本機の電源ボタンで電源をオフにすると、キャリブレーションが中断され、次回電源がオンしたときに初めからキャリブレーションをやり直します。

- キャリブレーションの状況は運転支援機能設定メニューの「カメラ位置調整」で確認できます。(→ P.46)

運転支援機能をオン / オフする

1. LCD 画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させる



2. [録画] アイコンをタッチして、録画を停止させる

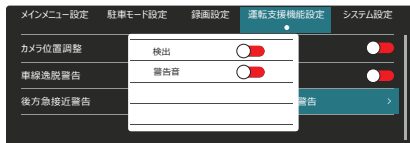
3. 録画停止状態で、[設定] アイコンをタッチする

設定メニュー画面が表示されます。



4. [運転支援機能設定] をタッチする

5. オンにしたい運転支援機能をタッチする



6. 設定したい項目をタッチして、設定を変更する

各項目の内容については、「メニューの一覧」を参照してください。(→ P.44)

録画する・写真を撮影する

本機には、「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

エンジンまたは ACC がオフの場合は「駐車録画」の機能があります（ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 が必要です）。

録画中の音声を記録する [Q] かしない [Q] かを設定できます。（→ P.16）

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は 1 ファイルごとの録画時間に分割して録画します。microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

1 ファイルごとの録画時間は 1 分です。



録画アイコン
(常時録画中は赤色が点滅します)



常時録画面

* 写真はイメージです。

録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSD カード内の「Movie」フォルダに保存されます。（→ P.41）

常時録画の解像度	1080p/28fps 固定です。
常時録画の最大録画時間	microSD カード容量ごとの録画時間の目安については、P.40 をご覧ください。

録画する・写真を撮影する

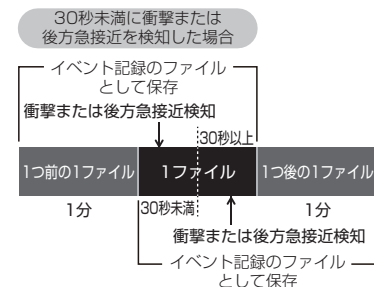
イベント記録

常時録画中の突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。または、後方急接近を検出すると警告音、画面表示し、イベントを記録します。

イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。

衝撃、または後方急接近を検知した時点のファイルおよび、1つ前または1つ後のファイルをイベント記録ファイルとして保存します。(常時録画のファイルとしては残りません)

ファイルごとの録画時間は最大1分です。イベント記録は手動で記録することもできません。



30秒以降に衝撃または後方急接近を検知した場合

録画アイコン
(イベント記録中は黄色が点滅します)



* 写真はイメージです。



- イベント記録が終了する前に[●]アイコンをタッチすると、その時点でイベント記録を終了して録画を停止します。このとき、常時録画に戻るには[●]アイコンをタッチします。
- 録画停止中、あるいは電源をオンにして30秒未満にイベント記録を開始すると、1ファイル(1分)のみが保存されます。
- 録画領域がなくなると、イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。この場合、使用しているmicroSDカードの種類によっては容量が異なるため、フロントカメラの映像だけ消去されリアカメラの映像ファイルが残ることがあります。ご使用する上での問題ははありません。
- シガープラグコードを使用している場合にイベント記録中にエンジンまたはACCをオフにすると、録画ファイルは「Movie」フォルダに保存されます。
- イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にしてmicroSDカードをすぐに抜いてください。

衝撃を検知する感度	お買い上げ時は「レベル4」に設定されています。設定については「メインメニュー設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。(→ P.45)
後方急接近警告	お買い上げ時は「オフ」に設定されています。設定については「運転支援機能設定」の「後方急接近警告」をご覧ください。(→ P.46)

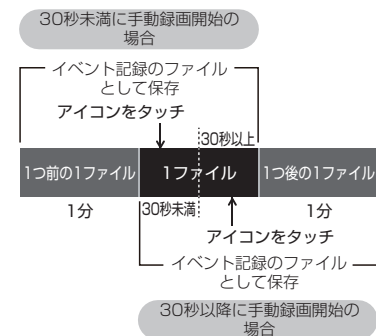
録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「EMR」フォルダに保存されます。(→ P.41)

■ イベント記録を手動で開始する(手動録画)

本機の [⊕] アイコンをタッチすると、イベント記録の手動録画を開始します(1分間)。手動録画中は、常時録画は記録されません。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。

ファイルの録画時間は最大1分です。



録画アイコン
(イベント記録中は黄色が点滅します)



* 写真はイメージです。

録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSD カード内の「EMR」フォルダに保存されます。(→ P.41)



- 手動録画が終了する前に [●] アイコンをタッチすると、その時点でイベント記録を終了して録画を停止します。常時録画に戻るためには [●] アイコンをタッチします。
- 録画停止中、あるいは電源をオンにして 30 秒未満に手動録画を開始すると、1 ファイル (1 分) のみが保存されます。
- 録画領域がなくなると、イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。この場合、使用している microSD カードの種類によっては容量が異なるため、フロントカメラの映像だけ消去されリアカメラの映像ファイルが残ることがあります。ご使用する上での問題ははありません。
- シガープラグコードを使用している場合にイベント記録中にエンジンまたは ACC をオフにすると、録画ファイルは「Movie」フォルダに保存されます。

録画する・写真を撮影する

駐車録画

■ 準備

- ・駐車録画には、衝撃を検知して録画する「衝撃検知モード」と、時間を圧縮して録画する「タイムラプスモード」があります。
- ・駐車録画機能を使用するには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) を接続する必要があります。接続方法は CA-DR550 に付属の取扱説明書の「配線のしかた」をご覧ください。

駐車録画のモードを設定する	お買い上げ時は「オフ」に設定されています。設定については「駐車モード設定」の「駐車モード設定」をご覧ください。(→ P.45)
衝撃を検知する感度	お買い上げ時は「中」に設定されています。設定については「駐車モード設定」の「衝撃検知感度設定」をご覧ください。(→ P.45)
オフタイマーを設定する	CA-DR550 (別売品) のお買い上げ時は「OFF」に設定されています。設定については、CA-DR550 の取扱説明書の「オフタイマー設定」をご覧ください。



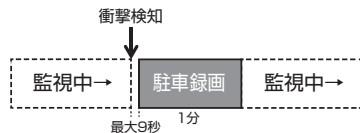
- ・駐車録画機能は車両の電源を常時使用しているため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。
- ・車両バッテリーの劣化などにより、車両バッテリー電圧が低い場合は駐車録画機能を中止します。CA-DR550 の取扱説明書の「電圧カットオフ値設定」をご覧ください。
- ・ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が開始することがあります。
- ・録画領域がなくなると、録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
- ・この場合、使用している microSD カードの種類によっては容量が異なるため、フロントカメラの映像だけ消去されリアカメラの映像ファイルが残ることがあります。ご使用する上での問題はありません。

- ・エンジンまたは ACC のオフ中に本機の電源ボタンで電源をオンすることはできません。
- ・エンジンまたは ACC をオフにする前に本機の電源ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- ・CA-DR550 の取扱説明書では、駐車録画機能設定の記載が本機の設定と異なります。本機の設定として下記に読み替えてください。
 - 「本製品について」の「ドライブレコーダーの駐車録画機能について」は、本書 36 ページの「駐車録画」をご覧ください。
 - ドライブレコーダー側の「駐車モード設定」を「低」「中」「高」のいずれかに設定してください。

▼
ドライブレコーダー側の「駐車モード設定」を「衝撃検知モード」または「タイムラプスモード」に設定してください。

■ 衝撃検知モード

エンジンまたは ACC をオフにするると衝撃検知モードの監視が始まります。衝撃検知モードの監視中に衝撃を検知すると、駐車録画を開始します。駐車録画ファイルの録画時間は 1 分間 (検知後の 1 分間) です。駐車録画が終了すると、再び監視を開始します。



録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSD カード内の「Parking」フォルダに保存されます。(→ P.41)

駐車録画が記録されたとき

駐車録画が記録された場合、エンジンまたは ACC をオンにしたときに「駐車録画がありません。」と LCD 画面に表示されます。



- 衝撃を検知してから録画を開始するまでに最大 9 秒かかります。
- 駐車録画が終了する前にさらに衝撃を検知しても駐車録画は延長しません。
- 駐車録画中に、本機の電源ボタンで電源をオフにすると、駐車録画を停止し、衝撃検知モードの監視を終了します（以降、衝撃を受けても駐車録画は動作しません）。
- 衝撃検知モードの監視中にドライブレコーダー用車載電源ケーブルを抜き差しすると、衝撃検知モードの監視を終了します。衝撃検知モードの監視を始めるためには、一度エンジンまたは ACC をオンにしてから再度オフにする必要があります。

■ タイムラプスモード

エンジンまたは ACC をオフにすると、タイムラプス録画を開始します。タイムラプス録画は 1 秒間に 1 フレームずつ録画し、28 分ごとに 1 ファイル記録します。microSD カードの録画領域がなくなると、常時録画またはタイムラプス録画の古いファイルから上書きしてタイムラプス録画を続けます。

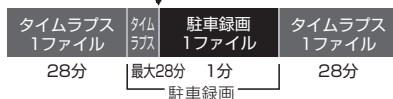
タイムラプス録画したファイルの再生は 28 倍速再生となり、1 ファイルの再生時間は 1 分となります。

タイムラプスモード中に衝撃を検知すると、衝撃検知モードと同様に駐車録画を開始します。駐車録画ファイルは、検知後の 1 分間と検知前のタイムラプスの 2 ファイルです。駐車録画が終了すると、再びタイムラプス録画を開始します。

エンジン/ACCオフ



衝撃検知



録画ファイルの保存場所

タイムラプス録画のファイルは、ファイル名の末尾に "_TL" を付けて、microSD カード内の「Movie」フォルダに保存されます。駐車録画のファイルは、microSD カード内の「Parking」フォルダに保存されます。（→ P.41）

駐車録画が記録されたとき


駐車録画が記録された場合、エンジンまたは ACC をオンにしたときに「駐車録画があります。」と LCD 画面に表示されます。




- タイムラプス録画では音声の記録は行いません。
- タイムラプス録画中は LCD 画面が消灯します。衝撃を検知し駐車録画中は LCD 画面が点灯します。
- 衝撃を検知してから録画を開始するまでに約 1 秒かかります。
- 駐車録画が終了する前にさらに衝撃を検知しても駐車録画は延長しません。
- 駐車録画中に、本機の電源ボタンで電源をオフにすると、駐車録画を停止し、タイムラプスモードおよび衝撃検知の監視を終了します（以降、衝撃を受けても駐車録画は動作しません）。
- タイムラプス録画中および駐車録画中にドライブレコーダー用車載電源ケーブルを抜き差しすると、タイムラプスモードと衝撃検知の監視を終了します。タイムラプスモードと衝撃検知の監視を始めるためには、一度エンジンまたは ACC をオンしてから再度オフにする必要があります。

録画する・写真を撮影する

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に「」アイコンをタッチすると、フロントカメラとリアカメラの映像を同時に撮影します。

録画停止中は撮影できません。録画停止中に「」アイコンをタッチすると、「録画を開始してから写真を撮影してください。」と表示されます。

記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



写真の保存場所

写真は、microSD カード内の「Photo」フォルダに保存されます。(→ P.41)



- 録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- 写真の解像度は 1920 × 1080 固定です。

音声コマンドを使用する

イベント記録（手動録画）、写真撮影、カメラ映像の切り替えの3つの機能は、コマンドを発話することで操作ができます。

音声コマンド

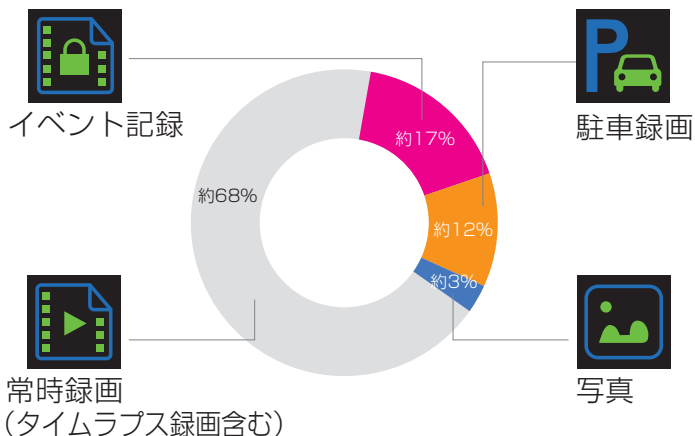
操作	音声
イベント記録（手動録画）	録画開始
写真撮影（静止画記録）	写真撮影
カメラ映像の切り替え （フロントカメラの映像）	フロントカメラ
カメラ映像の切り替え （リアカメラの映像）	リアカメラ
カメラ映像の切り替え （フロントカメラ/ リアカメラの映像）	すべてのカメラ



- ・発音や周辺の騒音状況などによっては、動作しないことがあります。
- ・会話中の声に反応して、意図せず動作することがあります。

録画時間の目安

● 記憶域の割り当て



● 録画時間の目安

記録時間はフロントカメラとリアカメラで同時に撮影したときの時間です。

microSD カード容量	常時録画	イベント記録 / 手動録画 (合計)	駐車録画	写真
32GB	約 89 分	約 22 分	約 15 分	約 90 枚
64GB	約 175 分	約 43 分	約 30 分	約 177 枚
128GB	約 351 分	約 87 分	約 62 分	約 356 枚



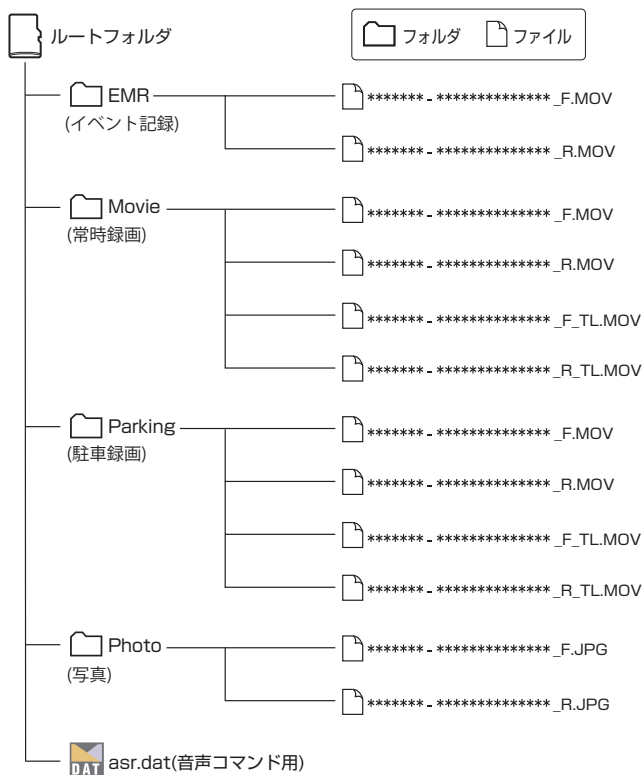
- ・ microSD カードによっては各項目の録画時間が変わる場合があります。
- ・ タイムラプスモードの録画時間は含まれていません。

フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。本機は独自システムにより録画ファイルを保存しているため、本機で記録した録画ファイルをパソコンなどでファイル削除やファイル名変更を行わないでください。

また、フォルダへファイル追加を行わないでください。

本機や KENWOOD MIRA-RECO VIEWER で正しくファイルを再生できなくなります。



ファイル名は、ファイル番号_年・月・日・時・分・秒_種類の順に自動的に付けられます。

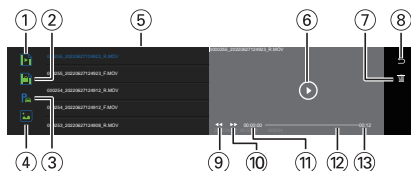
*****_*****_*
ファイル番号 年 月 日 時 分 秒 種類

● ファイル名の種類表記について

- ・[_F] はフロントカメラで録画したファイルです。
- ・[_R] はリアカメラで録画したファイルです。
- ・[_TL] はタイムラプスで録画したファイルです。

再生する

再生画面のアイコン



番号	アイコン	説明
①		常時録画ファイルのリストが表示されます。
②		イベント記録および手動録画のファイルのリストが表示されます。
③		駐車録画のファイルのリストが表示されます。
④		撮影された写真（静止画記録）のファイルリストが表示されます。
⑤	ファイルリスト	ファイルリストを上下にスワイプ（スライド）操作してスクロールします。
⑥		ファイルを再生または一時停止します。
⑦		[全部のファイル] または [該当ファイル] を選択して [実行] をタッチするとファイルが削除されます。
⑧		常時録画モードに戻ります。
⑨		2/4/8 倍速度で早戻しします。
⑩		2/4/8 倍速度で早送りします。
⑪	再生時間	ファイルの再生経過時間が表示されます。
⑫	プログレスバー	現在の再生位置が表示されます。
⑬	総再生時間	ファイルの総再生時間が表示されます。

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1. LCD画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させる

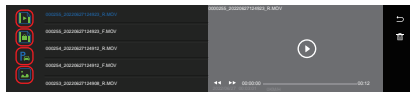


2. [再生] アイコンをタッチして、録画を停止させる

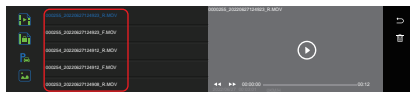
3. 録画停止状態で、[戻る] アイコンをタッチする

再生画面が表示されます。

4. [常時録画]、[イベント記録]、[駐車録画]、[写真] アイコンをタッチして、再生または表示したいフォルダを選択する



5. リストからファイルを選択する



6. [再生] アイコンをタッチして再生を開始する



- ファイルは録画または撮影した時間順に並びます。
- ファイル名のF(フロントカメラ映像)、R(リアカメラ映像)、TL(タイムラプス録画)で種類を表します。
- 再生時のリアカメラ映像は、録画中の画面表示と異なり、正像で再生されます。

設定を変更する

各機能を設定する

本機の設定を変更することができます。

1. LCD 画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させる



2. [●] アイコンをタッチして、録画を停止させる

3. 録画停止状態で、[●] アイコンをタッチする
設定メニュー画面が表示されます。



4. [メインメニュー設定]、[駐車モード設定]、[録画設定]、[運転支援機能設定]、[システム設定]をタッチする



5. 設定を変更したい項目をタッチする
選択できる項目が表示されます。



6. 設定したい項目をタッチして、設定を変更する

各項目の内容については、「メニューの一覧」を参照してください。(→ P.44)



・常時録画に戻る場合は、左右の空白部分をタッチします。



設定を変更する

メニューの一覧

*お買い上げ時の設定

■ メインメニュー設定

項目	設定	説明
システム音設定	<input checked="" type="radio"/> (オン) *	LCD 画面操作時の操作音や運転支援機能の警告音を鳴らすか設定します。 LCD 画面にある音量調整アイコンを一番下にスワイプ (スライド) 操作すると、操作音、警告音も同時にミュートになります。
距離単位	メートル * マイル	速度の単位を設定します。
時計表示	<input checked="" type="radio"/> (オン) *	LCD 画面上の日時の表示のオン / オフを設定できます。オフを選択した場合、LCD 画面をタッチすると日時が 10 秒間表示されます。
言語	English 日本語 *	本機の表示言語を設定します。
日付 / 時刻設定	—	日付と時刻を手動で設定できます。[<]、[>] アイコンで項目を選択、[∧]、[∨] アイコンで数値を変更して、[✓] アイコンで確定します。GPS 信号を受信すると日付 / 時刻は自動で設定されます。
音声コマンド	<input checked="" type="radio"/> (オン) *	音声コマンド (→ P.39) のオン / オフを設定します
バックミラー	<input checked="" type="radio"/> (オン) *	LCD 画面の表示を設定する機能です。 オンにすると、次回電源をオンにしたとき、LCD 画面にはリアカメラの映像が表示されます。 また、LCD 画面の表示がリアカメラ以外の映像の場合、10 秒後にリアカメラの映像に切り替わります。 オフにすると、次回電源をオンにしたときに、電源オフ前に設定された LCD 画面が表示され、その画面のままになります。
リバース連動	<input type="radio"/> (オフ) *	シフトレバーを "R" (リバース) にしたときにリバース連動「画角自動下降」機能を使用するか設定します。(→ P.29)

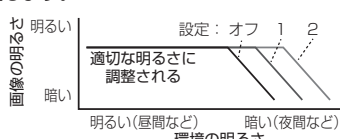
■ 駐車モード設定

項目	設定	説明
駐車モード設定	オフ* 衝撃検知モード タイムラプスモード	駐車モード機能を設定します。 衝撃検知モード： 本機に加わる衝撃を検知してから1分を録画します。 タイムラプスモード： 1秒間に1フレームずつ録画することで、常時録画の1/28に圧縮して録画します。また、本機に加わる衝撃を検知すると1分を通常の長さで録画します。
衝撃検出感度設定	低 中* 高	駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」(G値:0.4G)～「高」(G値:0.2G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)



- ・駐車録画機能を有効にするには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品)の電源接続が必要になります。
- ・「衝撃検出感度設定」は、「駐車モード設定」を[衝撃検知モード]または[タイムラプスモード]にすると設定できます。

■ 録画設定

項目	設定	説明
イベント感度設定	レベル1(感度低い) レベル2 レベル3 レベル4* レベル5 レベル6(感度高い)	イベント感度の設定値は、レベル1(約1.4G)～レベル6(約0.4G)です。
リアスモークガラス	オフ* 1 2	リアカメラの画像がスモークガラスにより、夜間など暗い場合は、1、2に調整してください。数値が大きいほど、夜間などの暗い画像を明るく調整します。 
情報記録設定	日付/時刻 <input checked="" type="checkbox"/> (オン)* 緯度/経度 <input checked="" type="checkbox"/> (オン)* 速度 <input checked="" type="checkbox"/> (オン)*	録画ファイルに記録する情報を設定します。項目ごとに、記録オン/オフを設定できます。

設定を変更する

■ 運転支援機能設定

項目	設定	説明
カメラ位置調整	—	運転支援機能を正しく機能させるためにカメラの位置を調整します。(→ P.31) また、キャリブレーションの状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none">・未調整：カメラ位置調整未実施・キャリブレーション中：カメラ位置調整中・完了：カメラ位置調整実施済み
発進遅れ警告	○▶ (オフ)*	停車時に前方車両が発進して離れてしまったときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
車線逸脱警告	○▶ (オフ)*	走行中に車線を逸脱したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
前方衝突警告	○▶ (オフ)*	走行中、前方車両に接近したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
後方急接近警告	オフ* 30km/h 50km/h 70km/h	後方車両が異常に接近してきたときに警告音と警告表示でお知らせする機能、およびイベント記録を開始する機能を設定します。 後方急接近警告を何 km/h 以上の速度で走行しているときに機能させるかを設定します。
斜め後方障害物警告	検出 ○▶ (オフ)* 警告音 ○▶ (オフ)*	走行中、後方から接近する車両などが自車の斜め後方(ブラインドスポット)に入ったときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。 警告音は検出を「オン」に設定したときに設定できます。

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
SD カードフォーマット	—	microSD カードを初期化して、すべてのファイルを消去します。 必要な録画ファイルが保存されている場合はパソコン等に保存してから操作してください。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
バージョン	—	本機の製品名とファームウェアのバージョンを表示します。

パソコンツールを使う

ビューアソフト「KENWOOD MIRA-RECO VIEWER」は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

インストールする

インストールする場合はパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。対応 OS 等の詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> をご覧ください。なお、本機ご購入時点に対応している OS であっても、今後 Windows および macOS の更新に伴い、対応外となる場合があります。

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で本機の型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. パソコンにインストールする

録画ファイルの再生

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダー（市販品）を使用してパソコンに接続する
2. KENWOOD MIRA-RECO VIEWER を起動する



- KENWOOD MIRA-RECO VIEWER の使いかたについては、KENWOOD MIRA-RECO VIEWER の取扱説明書をご覧ください。
- Mac の QuickTime Player などで再生すると microSD カード内のファイル構成が変更されてしまうため、その microSD カードを本機に挿入するとフォーマットを要求されます。必要なファイルが保存されている場合は、本機に microSD カードを挿入する前にパソコンなどに保存してください。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグのインジ ケーターが点灯してい ない	本機に電源が供給されていない。	シガープラグの差し込みと、本体の差し込みを確認してください。 (→ P.24)
	シガープラグコードのヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	エンジンまたは ACC をオフにした直後に、再度エンジンまたは ACC をオンにした。	本機の電源ボタンを押してください。
	動作が不安定になっている。	本機の RESET ボタンを押してください。(→ P.14)
microSD カードを認識 しない / 録画できない	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない。	microSD カードを microSD カードスロットに挿入してください。 (→ P.26)
	本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされた microSD カードが挿入された。	FAT32 または exFAT でフォーマットされた microSD カードをご使用ください。
	microSD カードがフォーマットされていない。	フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.27)
	microSD カードの読み込み / 書き込みができなくなっている。	microSD カードをフォーマットしてください。(→ P.27)
	フォーマットしても microSD カードエラーが表示される。	それでも症状が改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
録画ファイルが見つからない	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコン等に保存し、本機で microSD カードをフォーマットしてから録画を開始してください。
	32GB より容量が少ないため録画ファイルを作成できない。	容量が 32GB ~ 128GB の microSD カードをご使用ください。 (→ P.13)
録画されたファイルの映像が鮮明でない	レンズが汚れている。	柔らかい布などで乾拭きしてください。

症状	原因	対処方法
フロントカメラの映像に切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントカメラが正しく接続されていない。 ・フロントカメラ用ケーブルが車両内の配線途中で車両ボディなどにかみ込み断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントカメラの接続を確認してください。(→ P.23) ・フロントカメラ用ケーブルの配線を確認してください。 ・フロントカメラ用ケーブルは金属の部分が 見えないように最後まで押し込んでください。
フロントカメラの映像が記録されていない		
リアカメラの映像に切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・リアカメラが正しく接続されていない。 ・リアカメラ用ケーブルが車両内の配線途中で車両ボディなどにかみ込み断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リアカメラの接続を確認してください。(→ P.23) ・リアカメラ用ケーブルの配線を確認してください。 ・リアカメラ用ケーブルは金属の部分が 見えないように最後まで押し込んでください。
リアカメラの映像が記録されていない		

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) を使用していない。	本機の駐車録画機能を有効にするにはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) が必要になります。
	CA-DR550 のスイッチ設定が「オフ」に設定されている。	CA-DR550 の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	「駐車モード設定」が「オフ」に設定されている。	「駐車モード設定」で衝撃検知モード、またはタイムラプスモードに設定してください。(→ P.45)
	microSD カードが挿入されていない。	microSD カードを挿入してください。
	エンジンまたは ACC のオフを検知できない。	ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) の配線に誤りがないか確認してください。
	本機の電源をオフにした。	本機の電源はオンのままエンジンまたは ACC をオフにしてください。
	駐車モードの監視中に電源ケーブルを抜き差ししたために、駐車モードの監視が終了した。	駐車モードの監視を始めるためには、一度エンジンまたは ACC をオンにしてから再度エンジンまたは ACC をオフにする必要があります。
ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) のタイマー設定時間より前に録画が終わっている	車両のバッテリーの電圧がドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) のバッテリー上がり防止設定値 (電源カットオフ値設定) 以下になった。	ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店でバッテリーの電圧を確認してください。

故障かな？と思ったら

イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録している	・ イベント感度設定が適正に設定されていない。 ・ 急な坂道を走行している。	録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.45)
	運転支援機能の後方急接近を検出している。	運転支援機能設定の「後方急接近警告」でオフまたは動作させる走行速度を設定してください。(→ P.46)
録画ファイルが見つからない	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから、ご使用ください。
	イベント記録中にエンジンまたは ACC をオフにした。	・ シガープラグコードを使用している場合にイベント記録中にエンジンまたは ACC をオフにすると、録画ファイルは「Movie」フォルダに保存されます。 ・ イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にし microSD カードをすぐに抜いてください。

運転支援

症状	原因	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない	調整がずれている。	「運転支援機能を使う」を参照して、カメラ位置を再調整してください。(→ P.31)
	雨の日や夜間に走行している。	雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。
	衛星の信号を受信できない。	衛星の信号を受信できていないと、速度などが正しく測位できないため、機能が正しく働きません。
	「カメラ位置調整」の設定がされていない。	「運転支援機能を使う」を参照して、「カメラ位置調整」の設定をしてください。(→ P.31)
	microSD カードが挿入されていない。	microSD カードを挿入してください。
録画を停止している。	録画を停止している。	・ [●] アイコンをタッチして録画を開始してください。 ・ 設定メニュー画面や再生画面が表示されている場合は、画面を閉じてください。
	適切な位置にカメラが取り付けられていない。	「取り付け / 配線のしかた」を参照して、運転支援機能を使用する場合の推奨取り付け範囲内にカメラを取り付けてください。(→ P.18)
キャリブレーションが完了しない	必要な走行条件を満たしていない。	「運転支援機能を使う」を参照して、条件に合った環境で走行してください。(→ P.32)

リバース連動「画角自動下降」

症状	原因	対処方法
リバース連動「画角自動下降」機能が動作しない	リバース検出コードが正しく接続されていない。	リバース検出ケーブルを正しく接続してください。(→ P.19)
	「リバース連動」が「オフ」に設定されている。	「リバース連動」で「オン」に設定してください。(→ P.29)
リバース連動「画角自動下降」機能が正しく動作しない	シフトレバーを「R」(リバース)にしたときに安定した電圧(3.3V以上)が出力されない。	リバース検出ケーブルを正しく接続してください。(→ P.19)

KENWOOD MIRA-RECO VIEWER

症状	原因	対処方法
KENWOOD MIRA-RECO VIEWER が起動しない	管理者権限でのインストールをしていない。	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.47)

その他

症状	原因	対処方法
純正ルームミラーが傾いてしまう	純正ルームミラーの角度調整部分が破損している。	車両ディーラーにご相談ください。
	純正ルームミラーの角度調整のネジが緩んでいる。	純正ルームミラーに調整ネジが付いている場合は調整ネジを締めて調整を行ってください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオにノイズが入る ・ラジオの受信感が悪い 	車両側のラジオアンテナコードやフィルムアンテナ付近に本機のケーブルを配線している。	本機のケーブル配線をラジオアンテナコードやフィルムアンテナから遠ざけてください。

表示メッセージ

メッセージ	原因	対処方法
SD カードをフォーマットしてください！	microSD カードが認識できる形式でフォーマットされていない。	「実行」をタッチして、フォーマットを行ってください。(→ P.27)
	パソコンなどで microSD カード内のファイルの変更や追加・削除を行った。	「実行」をタッチして、フォーマットを行ってください。(→ P.27)
この SD カードは本機での使用には適していません。他の SD カードと交換してください。	書き込み速度の遅い microSD カードが使用されている。	他のメーカーの microSD カードと交換してください。(→ P.13)

故障かな？と思ったら

メッセージ	原因	対処方法
SD カードエラーです。フォーマットをお試しください。	認識できない microSD カードが挿入されている。	microSD カードを本機でフォーマットしてください。(→ P.27) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しい microSD カードを入れてください。(→ P.26)
SD カードが入っていません！	microSD カードを入れていない状態で電源をオンにした。	microSD カードを入れてください。(→ P.26)
キャリブレーションが完了しました。	運転支援機能のカメラ位置調整(キャリブレーション)が完了した。	カメラの位置調整が完了し、運転支援機能が正常に動作するようになります。(→ P.31)
駐車録画があります。ファイル数：	電源オフ中に駐車録画が行われました。	「実行」をタッチすると再生画面に入ります。「キャンセル」をタッチすると、常時録画に入ります。
録画を一度停止してください。	録画中に [] または [] アイコンをタッチすると表示されます。	[] アイコンをタッチして録画を停止してください。
フロントカメラが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> フロントカメラが正しく接続されていない。 フロントカメラ用ケーブルが車両内の配線途中で車両ボディなどにかみ込み断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> フロントカメラの接続を確認してください。(→ P.23) フロントカメラ用ケーブルの配線を確認してください。 フロントカメラ用ケーブルのプラグを最後まで押し込んでください。
リアカメラが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> リアカメラが正しく接続されていない。 リアカメラ用ケーブルが車両内の配線途中で車両ボディなどにかみ込み断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> リアカメラの接続を確認してください。(→ P.23) リアカメラ用ケーブルの配線を確認してください。 リアカメラ用ケーブルのプラグを最後まで押し込んでください。
フロントカメラの接続を確認してください。	フロントカメラ接続ケーブルでフロントカメラ以外(例えばリアカメラ)が接続されている。	フロントカメラの接続を確認してください。(→ P.23)
リアカメラの接続を確認してください。	リアカメラ接続ケーブルでリアカメラ以外(例えばフロントカメラ)が接続されている。	リアカメラの接続を確認してください。(→ P.23)
まもなく再起動します。	microSD カード未挿入状態で microSD カードが挿入される。	そのまま再起動をお待ち下さい。
録画を開始してから写真を撮影してください。	録画停止中に [] アイコンをタッチすると表示されます。	[] アイコンをタッチして録画を開始してください。
ドライブレコーダー用車載電源ケーブルを接続してください。	付属のシガープラグコードで使用しているときに「駐車モード設定」を実行した。	駐車録画機能を使う場合は、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) が必要です。

付録

モニター画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たると長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは LCD 画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは LCD 画面特有の現象で故障ではありません。
- LCD 画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見えづらい、背景などが写り込むことがあります。故障ではありません。

商標について

- Windows、Windows Media は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、macOS、QuickTime は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC Video) を記録する場合
 - 2) AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの) を再生する場合

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド (以下、“ライセンサー”) が提供する本体組み込みソフトウェア (以下、“許諾ソフトウェア”) はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの“許諾ソフトウェア”に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この“許諾ソフトウェア”をご使用いただくものと致します。お客様 (以下、“使用者”) が“許諾ソフトウェア”を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます。“ソフトウェアに関する重要なお知らせ”を必ずご覧ください。

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权 (第 3 条第 1 項に定める例外を除く) を使用者に許諾します。

付録

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは“許諾ソフトウェア”について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第 11 条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した日本国外への送信を含みます)はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び日本国の法律(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザ、エンドユーザによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッド又は第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザライセンスアグリーメント(以下、“EULA”といいます)に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

“EULA”の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License又はLesser General Public License(以下、“GPL/LGPL”といいます)のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを頒布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該“GPL/LGPL”の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予めご了承ください。

“GPL/LGPL”の適用を受けない“EULA”に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発若しくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

“GPL/LGPL”に基づいて頒布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再頒布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守したかなければならない事項等の詳細は、各“GPL/LGPL”をお読みください。

本製品に組み込まれた“GPL/LGPL”の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文(英文)を以下に記載します。

Linux Kernel

適用ライセンス：

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

U-Boot

適用ライセンス：GNU GENERAL PUBLIC
LICENSE Version 2

BusyBox

適用ライセンス：GNU GENERAL PUBLIC
LICENSE Version 2

EXFAT

適用ライセンス：GNU GENERAL PUBLIC
LICENSE Version 2

Noto Sans CJK JP

Copyright © 2014, 2015 Adobe
Systems Incorporated(<http://www.adobe.com/>).

Noto is a trademark of Google Inc.

適用ライセンス：SIL OPEN FONT
LICENSE Version 1.1

源真ゴシック

© 2015 自家製フォント工房

Copyright © 2014, 2015 Adobe
Systems Incorporated(<http://www.adobe.com/>), with Reserved Font
Name 'Source'. Source is a trademark
of Adobe Systems Incorporated in the
United States and/or other countries.
Copyright (C) 2002-2014 M+ FONTS
PROJECT

適用ライセンス：SIL OPEN FONT
LICENSE Version 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセン
ス条件

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software
Foundation, Inc.,

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA
02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute
verbatim copies of this licensed document, but
changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are
designed to take away your freedom to share
and change it. By contrast, the GNU General
Public License is intended to guarantee your
freedom to share and change free software-
to make sure the software is free for all its
users. This General Public License applies
to most of the Free Software Foundation's
software and to any other program whose
authors commit to using it. (Some other Free
Software Foundation software is covered
by the GNU Lesser General Public License
instead.) You can apply it to your programs,
too.

When we speak of free software, we are
referring to freedom, not price. Our General
Public Licenses are designed to make sure
that you have the freedom to distribute
copies of free software (and charge for this
service if you wish), that you receive source
code or can get it if you want it, that you can
change the software or use pieces of it in
new free programs; and that you know you

can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work,

and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and
a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-- whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

主な仕様

メインユニット

電源電圧	DC5V (12V 車両用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	1.8A (2.5A)
駐車録画待機時消費電流 (最大)	衝撃検知モード：9.5mA タイムラプスモード：410mA
測位衛星	GPS / QZSS (準天頂衛星)
G センサー	内蔵 イベント記録設定：6段階 / 駐車録画設定：3段階
液晶サイズ	12V 型 フルカラータッチパネル IPS 液晶
動作温度範囲	-10℃～+60℃
記録解像度	Full-HD (1920 × 1080)
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「CA-DR550」が必要
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	MOV (H.264+PCM)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (最大 1920 × 1080)
記録映像再生方法	本体、 専用ビューアーソフト (当社ホームページよりダウンロード)、 もしくは Windows 標準の Windows Media Player など
記録メディア	microSD カード 32GB～128GB 対応 V30 以上
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	296mm × 79mm × 27mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず、 microSD カード含む)	466g
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード、 ガラス管ヒューズ：φ 5.2 × L20mm、電流容量 5A を内蔵)

主な仕様

フロントカメラ / リアカメラ

撮影素子	1/2.8 型 約 207 万画素フルカラー-CMOS
最大記録画角	水平 133° / 垂直 69° / 対角 162°
F 値	F2.0
動作温度範囲	-10℃~+60℃
記録解像度	Full-HD (1920 × 1080)
フレームレート	28fps (タイムラプス時 1fps)
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	57mm × 31mm × 25mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 60mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず)	35 g
接続ケーブル長	接続ケーブル (フロントカメラ用ケーブル) : 0.7m 接続ケーブル (リアカメラ用ケーブル) : 9.8m

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://www.jdrc.or.jp/kaikae/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円
(一律)

JDRC **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当
お問い合わせ ▶ e-mail : info@jdrc.or.jp

内容

補償金の範囲

- ① ドライブレコーダーの再購入費用
- ② SDカード再購入費用
- ③ ドライブレコーダーの撤去費用
- ④ ドライブレコーダーの再設置費用
- ⑤ 交通事故証明書の発行費用
- ⑥ 補償金申請に関する資料及び物品の送料
- ⑦ その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無 料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- ① ドライブレコーダー本体
- ② ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- ③ 交通事故証明書(写しでも可)
- ④ レッカー搬送の証明書類
- ⑤ 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- ⑥ 補償金請求書

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話からはナビダイヤル）
045-450-8950（一部 IP 電話など）/ FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→ P.48）または当社ホームページの FAQ（→ P.48）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

- 補修用性能部品の保有期間
この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
 - ・ 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
 - ・ 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
 - ・ 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です）
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - 消耗部品 (例えば、SD メモリーカード、乾電池、充電電池等) の交換。
 - 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。

※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
DRV-EM4800		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		本体： 1 年	
※ お 客 様	お名前		
	様		
	ご住所 〒		
	電話番号 ()		
※ 販 売 店	店名・住所		
	電話番号 ()		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
 0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)
 045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
 受付時間 月曜～金曜： 9:30～18:00
 土曜： 9:30～12:00、13:00～17:30
 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。